立花生徒会新聞 Trust通信

決意表明

冬休みが明け、新生徒会執行部の活動が本格的になってきました。私たちは十二月に行われた生徒会執行部役員選挙で、それぞれがそれぞれの思いを持って立候補しました。ですが、自分たちの力で行事の企画などをし学校をつくっていきたい、みなさんの思い出に残るような良いものにつくりあげていきたいという気持ちは同じでした。行事などのときに学校全体が一つになると、とても良い雰囲気になりすばらしいものになると思います。それを実現するためには、生徒会執行部だけが頑張るのではなく、みなさんからの協力も必要となってきます。

まずは生徒会執行部が団結し、全員で何事も協力しながら乗り越えていきたいと思います。そして朝の挨拶運動や生徒会新聞などの日々の活動を、しっかりと確実に行っていこうと思います。専門委員会でも、それぞれの委員会で今までの活動を引き継ぎ、さらに新しい取り組みをしたり、企画を考えたりなど自分たちの力で積極的に取り組んでいきたいです。また、風紀面などの普段の生活から気をつけて、全校生徒の良いお手本となるようにしたいと思っています。一つ一つの活動に全力で取り組み、最終的には少しずつでもみなさんに信頼されていき、学校全体が一つになって、先ほどもあったようにみなさんの思い出に残る行事をつくっていきたいです。

新生徒会執行部はこれからたくさんの活動をしていきます。まだわからないことも多く、失敗することがたくさんあると思います。また、旧生徒会執行部の先輩方のようには、行事や委員会などをスムーズに進められないかもしれません。今はまだ、先生方や旧生徒会執行部の方に助けてもらいながらですが、精一杯活動を頑張っていこうと思います。そして、失敗や先輩方・先生方から学んだ経験を次に活かし、みなさんと協力して今以上によりよい立花中学校をつくれるよう、頑張っていきたいです。これからみなさんに協力を求めることも多いと思いますが、一年間新生徒会執行部をよろしくお願いします。

今年度の生徒会新聞のタイトルが「Ｔｒｕｓｔ」に決定しました。この「Ｔｒｕｓｔ」という言葉には、「信頼する」、「信用する」という意味があります。つまり「生徒全員がお互いを信頼し合い、助け合っていく」ということです。タイトルは新生徒会執行部全員でさまざまな言葉をそれぞれ出し合い、話し合って決めました。今回の話し合いで、これからの立花中学校をより良くしていくにあたってどのようなことを目標にすればよいかということを考えながら話し合いました。その中で出てきた候補の中でも、信頼するということは行事などでクラスで協力したり、学校全体で一つになるために大事になってくると思い、よく話し合った結果「Ｔｒｕｓｔ（信頼）」となりました。ですが、「信頼（Ｔｒｕｓｔ）」といってもそう簡単にしてもらえることではありません。「信頼」とは、「相手を信じて、すべてをまかせることができると思うこと」という意味です。なので、相手にすべてをまかせることができるというのはなかなかすぐにできることではありません。信頼（信用）してもらおうと思ったら、まず、授業をちゃんと聞く。忘れ物をしない。などの「日々の生活での行動を見直していく」ということを毎日心がけていくといいでしょう。その心がけが「Ｔｒｕｓｔ（信頼）」につながっていくと思います。

また、執行部は八人全員がお互い助け合っていかなければ成り立ちません。私達は新聞のタイトル「Ｔｒｕｓｔ（信頼）」を目標とし、お互いを信頼し合い、助け合っていき、より良い立花中学校をつくっていけるよう執行部全員で努力していきたいと思います。しかし立花中学校をつくっていくのは私達生徒会執行部だけではありません。全校生徒のみなさんといっしょにつくりあげていきたいと思っています。そのためにはみなさんの協力が必要となってきます。この一年間「Ｔｒｕｓｔ（信頼）」という言葉を心に留めて、より良い学校をつくりあげていけたらと思いますので、これからみなさんのご協力よろしくお願いします。

Trustの意味
「信頼」
お互いを信頼し助け合う

タイトルについて

第1号　平成27年1月7日　水曜日
尼崎市立立花中学校生徒会新聞

校長先生と教頭先生にインタビュー

今回私達は、立花中学校や全校生徒のことを校長先生、教頭先生にインタビューしてきました。　Q：立花中学校の良い所は何ですか？　A：皆が規則正しく、気持ちよい挨拶が出来ている所です。また、生徒会活動が活発な所も自慢です。Q：これから立花中学校にはどんな学校になってほしいですか？　A：学級全体が一つにまとまる学校に。更に、勉強を一生懸命頑張ってもらって、人間的にも、学力的にも充実した人間になってほしいと思います。Q：六年間立花中学校にいて変化した事は何ですか？　A：まずは、挨拶ですね。一回一回立ち止まり、相手の目をしっかり見ながら出来ています。それと、下駄箱がとても綺麗に整頓されています。落ち着非常に良いと聞きます。それは、立花中学校の良い所、自慢でも言われていたような日頃の行いのおかげではないでしょうか。勉強と部活を両立する、相手の目を見てしっかり挨拶をする、生徒が一丸となって行事を成功させる。どれも大切ですが、続ける事が難しいものばかりです。しかし、私達はそれを当たり前にしています。それは、誇れる事です。ですからこれからも、「立花中学校は良い学校だ。」と言ってもらえるよう頑張りましょう。また、「学級全体が一つにまとまる学校に。」を実現できるようにしていきましょう。学級をまとめるには、どうすればいいかをよく考えなければいけません。よく考える力はよく勉強する事で身につきます。ですから、よりよい学級をつくるため一生懸命勉強を頑張っていってください。校長先生や教頭先生はこの立花中学校の事をとても大切に思ってくださっています。

そんな先生方の思いを胸に、これからも立花中学校の良い所を残していきましょう。校長先生、教頭先生ご協力ありがとうございました。

新学期について

短かった冬休みが明け、新学期がスタートしました。冬休みには、大晦日や元旦などがあり学習面では勉強時間が短くなり、生活面では不規則な毎日を過ごしていた人も居るのではないでしょうか？そこで「過ごしていた。」という人は、今からでも気持ちを3学期モードに切り替えましょう。そうでないと、数日後いろいろな症状がでてきます。例えば冬休み、朝は10時くらいまで寝て夜は遅くまで起きていた人は、今までの生活にリズムが乱れてしまっています。そして、1年の中で最も大切なこの3学期を棒に振ってしまうかもしれません。そんな生活を、冬休みが明けてもなお続けていると、授業中眠くなったり、体がだるくなったりする症状が出てきます。この例は2学期までは整っていた生活のリズムが乱れたことによって起きてしまいます。皆さんはこのようにならないように早めの対策を取ってください。

そして、3学期になったということは、1月末にある実力テストがもう、すぐそこだということです。実力テストは、日々の自分のがんばりを試し、自分の苦手な所や得意な所が分かってより今後のテストに活かしていけるテストだと思います。皆さんは実力テストは範囲が広くて大変だとは思ってはいませんか？しかし実力テストは一度テストしたところが範囲になるので、今までのテストをしっかり見なおせば出来ると思います。

3年生は入試に向けて今まで勉強をがんばってこられたと思います。進路が実現できるよう日々の努力を惜しまず過ごしてきました。そして、本番に向けて残りわずかのこの期間をがんばってください。2年生は初めての市内統一のテストです。自分の実力が良く分かり来年の入試にとても役立つのではないでしょうか。このテストは範囲が1年生の初めから2年生の半ばまでなので、本当の入試の約半分です。いい入試対策になるはずです。1年生の皆さんは実力テストは初めてですが日々の勉強がしっかりできていたら大丈夫です。皆さんそれぞれがんばってください。

編集後記

今日から三学期が始まりました。気持ちを新たにして残りの三ヶ月を頑張りましょう。新生徒会執行部にご協力よろしくお願いします。（井上・白瀬・勝本・田中・辻本）